

15 東京理科大学

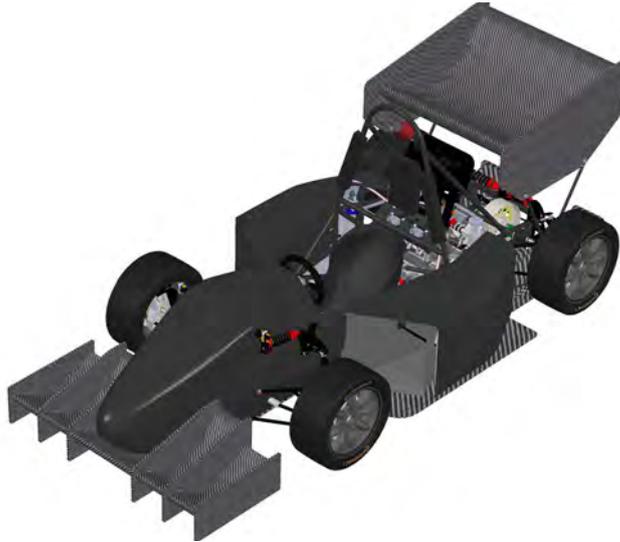
Tokyo University of Science

機械工学研究会

TUS Formula Racing

<https://www.facebook.com/tusfr>

第13回大会を終えて ～新規事項に取り組んだ1年間～



今回の総合結果・部門賞

●総合25位

Profile チーム紹介・今までの活動

第3回大会より出場し今年で11回目の参加です。第9回大会で初全種目完走、第11回大会で総合9位(チーム最高成績)を獲得するなど、過去10年間で実力を養ってきました。今年は次の10年間の最初の年であると考え、10年以内に総合優勝するための礎になることを目指しました。

Team-member チームメンバー

神野 育人 (CP)
川口 靖夫 (FA)、岡田 裕 (FA)、松崎 亮介 (FA)、
太刀川 武志、合崎 遼、森山 達、吉山 光佑、
木村 郁仁、青山 由夏、金子 龍一、桐木 真由、
小崎 栄里子、酒匂 翔洋、澤田 明日香、
竹中 慎太郎、前田 寛喜、楊 塵、岩埜 弘夢、
岡 魁人、川邊 崇巧、小原 忠篤、古渡 大輝、
平戸 健介、松本 華子、三橋 健、八島 涉、
畠山 一希、阪田 智樹、羽山 泰生、松本 侑樹、
川上 奏、平岡 拓巳、森 勇人、藤本 空知、
柳澤 瀬名、中村 翔太、佐々木 由美、鈴木 康平、
小林 達晴、稲葉 光稀、小山 友介、大塚 好人、
千手 耀平

Presentation

プレゼンテーション

今年はスケジュールの遅れにより製作に十分な時間を取れず、新規事項のなかでも製作できないものや実装可能水準に至らないものが少なくありませんでした。また急造したために多くのトラブルや調整不足を招き、試走も十分に行なわずに大会を迎えました。

1日目の事前車検では多くの不適合項目を指摘され、修正に時間を要しました。最終的に車検を通過したのは3日目の午前11時半頃で、競技規定によりアクセルレーションとスキッドパッドには出走できませんでした。4年間続いた全種目完走の記録を断ってしまったことは無念でなりません。

静的審査でも対策に十分な時間を取れず、コスト審査とプレゼンテーション審査において昨年より順位を落とす結果となりました。しかしデザイン審査では新規事項への取り組みが評価され、101点というチーム史上最高得点を得ることができました。目指したものと考え方は間違っていないのだと思います。

動的競技はオートクロスとエンデュランスのみの出走となりました。実際はオートクロスでは出走直前に部品が破損し出走できなかったのですが、悪天候による競技中止とその補償(出走権を持つ全チームに一律得点とエンデュランス出走権を与える)によって救われました。エンデュランスでは調整不足により扱いが難しい車両を2人の優秀なドライバーが無事完走させてくれて、得点を得ることができました。

大会結果は昨年より順位を下げた総合25位でした。この1年で多くの失敗をしましたが、その経験を礎に来年以降の活動に取り組んでいきます。

Participation report

参戦レポート

今年は弊チームにとって大会参戦11年目になります。過去10年間には第9回大会から連続全種目完走、第11回大会での総合9位(チーム最高成績)獲得など、知識と経験を蓄え成長してきました。そして我々は今年を次の10年間の最初の年と考え、10年以内の総合優勝を目指して今年1年間のチームコンセプトを「次の10年の礎になる挑戦をする」に、車両開発コンセプトを「新規事項の挑戦的導入」に定めて活動しました。

新規事項のなかで大きなものは、シャシー系統においてエアロデバイス導入とそれに対応したサスペンション開発を、パワートレイン系統において可変吸気システムとドライサンプシステムの開発を計画していました。この他にも各設計・製作班において何からの新規事項に取り組みました。

しかし新規事項の設計は当初想定していたよりもずっと多くの時間と労力を要し、年間スケジュール全体が後ろ倒しになり製作・試験・改善に当てる時間を潰してしまいました。それによってシェイクダウン前後にも大会当日にも多くのトラブルに見舞われましたが、過去の先輩方が残してくれた知識・経験を土台にしつつ多くの方々のご支援を得てトラブルシューティングに取り組み、エンデュランスを完走することができました。

Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、昭立製作所、栄銅管、NTN、東京R & D、日信工業、ソリッドワークス・ジャパン、Quick羽生、住友電装、ゼット・エフ・ジャパン、サイアン、深井製作所、シテイクアート、日本自動車大学校、堀越精機、デンソー、丸紅情報システムズ、富士精密、グループ・エム、ミナロ、リオン、コンチネンタル・オートモーティブ、協和工業、日本オイルポンプ、ワークス・ベル

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/15.html>